

高校生議員の皆さんへ

「かながわハイスクール議会2025」

- 政策提言に応じて -

令和8年2月

神奈川県

はじめに

令和7年8月4日、6日、18日の日程で「かながわハイスクール議会2025」が開催されました。

最終日には、高校生議長から皆さんの議論の成果である「政策提言書」をいただきました。

県では、皆さんからいただいた提言を真摯に受け止め、実現できる事業について、一生懸命考えました。

そして、いただいた提言に対して一つひとつお答えするべく、この冊子を作成しました。

皆さんには「かながわハイスクール議会2025」への参加をきっかけとして、今後、より積極的に県政に関わる意識を持ち続けていただければ幸いです。

ご参加いただき、真剣に議論をしてくださった高校生議員の皆さんに、改めて心から感謝申し上げます。



目次

かながわの未来共創特別委員会	P. 1
防災警察常任委員会	P. 2
文化スポーツ観光常任委員会	P. 3
環境農政常任委員会	P. 4
厚生常任委員会	P. 5
産業労働常任委員会	P. 6
建設・企業常任委員会	P. 7
文教常任委員会	P. 8

「かながわハイスクール議会2025」 - 政策提言に応じて -

かながわの未来共創特別委員会

「こどもの笑顔がまんなかにあるかながわにしましょう」

(SDGs 目標 1・2・3・4・10・17)

【提言要旨①】

「ヤングケアラー」の支援制度や相談窓口の認知度を高めるため、Instagram などの SNS を活用し、親しみやすく、分かりやすい動画や画像で情報発信を行う。

「ヤングケアラー」という言葉や存在を知らない層に広くアプローチするため、高校生の皆様から提案いただいたように、若者が日常的に利用する SNS (Instagram や YouTube など) を活用して、年度内には動画や画像でヤングケアラーについて情報発信できるよう準備を進めています。

【提言要旨②】

県主催のイベントで、ヤングケアラーの相談窓口や支援内容を紹介するブースを設け、子どもや保護者が直接情報に触れられる機会を増やす。

現在、県では、県のホームページに「ヤングケアラーのコーナー」を設け、相談窓口や支援内容の紹介を行っています。

また、令和6年度に、こども家庭庁が神奈川県内の星槎高校で実施した「ヤングケアラー出前講座」に県も参加し、県の取組をPRしました。

加えて、こども家庭庁からポスター及びチラシが配布されることとなっており、年度内には県所管の児童相談所や保健福祉事務所並びに市町村の児童福祉主管課に掲示され、周知・啓発することになっています。

(県HP)

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/he8/young-carer2021.html>

【関連局】福祉子どもみらい局

防災警察常任委員会

「特殊詐欺を防ぎ、安心して暮らせるまちをつくりましょう」（SDGs目標4・11・16）

【提言要旨】

県出身の俳優やキャラクターとコラボする等した、闇バイト加担防止啓発動画や広告を作成するとともに、闇バイトに関するクイズ、アンケートを作成し、県の公式SNS等で発信する。

また、発信内容を、高校生が使っている1人1台端末等を活用し、学習管理アプリを通じて直接届ける。

神奈川県に縁がある著名人等にご協力いただき、闇バイト防止啓発動画の作成を行い、県のHPや公式SNSで発信します。

また、作成した動画に加え、高校生を対象とした闇バイトに関するクイズやアンケートを作成し、高校生が使用している学習管理アプリ等を通じて、高校生に周知し、闇バイトの認知度、理解度を深める取組を実施します。

【関連局】 暮らし安全防災局、教育局

文化スポーツ観光常任委員会

「みんなで新しい神奈川県民ホールをつくりましょう」（SDGs目標4・10・11）

【提言要旨】

県民ホールを交流の場の一つとし、また気軽に入ってもらいやすくなる空間となるような整備を行う。

建替え後の県民ホールは、文化芸術の拠点としての役割にとどまらず、あらゆる人々が気軽に集うことができる施設にしていく必要があると考えています。

今年度策定する神奈川県立県民ホール本館再整備基本構想に、交流の場としての機能についても盛り込み、提案いただいた役割が担える施設となるよう再整備に取り組んでいきます。

【関連局】文化スポーツ観光局

環境農政常任委員会

「GREEN×EXPO 2027 を盛り上げていきましょう」(SDGs目標4・13・15・17)

【提言要旨 ①】

若い世代に根差した広報活動として、マスコットキャラクターである「トウクトウク」を活用し、「ビッグトウク」(公募で集めた自然の写真で作ったトウクトウクのモザイクアート)の作成、トウクトウクのアート作品の公募・展示、トウクトウクの着ぐるみ登場&写真撮影会などを行う。

GREEN×EXPO 2027の認知度を高めるためには、SNSによる発信など、若い世代に根差した広報活動が重要です。

県では、提案いただいたビッグトウクを始めとするアート作品の作成や着ぐるみの活用なども含め、公式マスコットキャラクタートウクトウクを用いた効果的な広報を検討していきます。

【提言要旨 ②】

若年層が主体的に関わる取組として、会場配布のパンフレットに植物の種を添付し、来場者がそれを家に持ち帰って植えてもらう「植物からの手紙」プロジェクトを実施する。

GREEN×EXPO 2027の機運醸成を図るためには、若年層が関心を持ち、主体的に関わっていただくことが重要です。

そのため、県では、提案いただいた「植物からの手紙」プロジェクトも含め、若年層をはじめとする県民参加型の取組について検討し、「みんなで盛り上げ、みんなで創り、みんなが参加する万博」を目指していきます。

【関連局】環境農政局

厚生常任委員会

「未病（ME-BYO）を改善し、未来のかながわを守りましょう」（SDGs目標3・4）

【提言要旨 ①】

広報動画の長さを1～3分程度の短いものに変更したり、インフルエンサーや企業、人気キャラクターとのコラボ動画の作成、人通りの多い場所での広報イベントの開催等、未病に係る広報の内容・手段の見直しを行う。

元横浜ベイスターズ監督である三浦大輔氏に、未病の考えを広める「未病番長」に就任いただいております。未病の普及啓発のための動画4本に出演していただいております。この動画は1分程度で未病を分かりやすく説明したものであり、県のホームページで公開しているほか、県民の皆様が参加するイベントでも上映するなど、広く活用しています。

また、インフルエンサー（ME-BYOスタイルアンバサダー）が講師となった未病改善のための動画を作成し、県のホームページで公開しています。

【提言要旨 ②】

未病の副教材を活用した出前授業や、副賞や表彰のつくポスターコンクールの開催等により、教育現場と連携を図る。

未病の副教材については、毎年、県立高校の先生が集まる会議などの場で紹介し、授業等での活用を呼び掛けています。また、依頼に応じて出前授業を実施するなど、未病の考え方を発信しています。

今後も未病の考え方が若い世代に届くよう手法を検討しながら、教育現場との連携を図っていきます。

【関連局】健康医療局

産業労働常任委員会

「若者が夢を叶えるまち、かながわを目指しましょう」（SDGs目標8）

【提言要旨】

若者の県内就職を促進するため、神奈川県主体の就職活動アプリを作成・活用し、企業周知と就活時から就職後まで続く金銭的支援を行う。

いただいた提案のうち、就活から就職後まで続く交通費等の金銭面の支援については、首都圏にある本県は、企業や大学等が多く、交通の便も良いことから、交通費の支援など、金銭面の支援は考えていません。

また、中小企業の周知については、県では、独自の工夫等により成長した県内の中小企業を県が認定し、広く周知することで、認定企業の社会的認知度の向上を図る「がんばる中小企業発信事業」を実施しています。この事業では、アプリの使用は考えていませんが、Instagram広告やYouTube広告といったSNS等を活用した、魅力的な中小企業の情報発信に取り組んでいます。

【関連局】 産業労働局

建設・企業常任委員会

「水とともに生きるまちを作しましょう」（SDGs目標9・11・12・13・15）

【提言要旨】

幅広い世代に分かりやすく、親しみやすい内容となるようなアニメーション動画等を制作し、県の治水事業や整備等の取り組みを発信するとともに、県の広報物や SNS での発信、イベント等でも活用する。

近年、水害が激甚化、頻発化する中、県は、川幅を拡げたり、遊水地を整備するといった水害対応力の強化に取り組んでおり、こうした取組を進めるためには、県民の皆様の御理解をいただくことが不可欠なことから、広報にも力を入れています。

現在、遊水地の仕組や効果を広報するCGアニメーションを用いた動画の制作を進めていますが、提案いただいたとおり、幅広い世代に分かりやすく、親しみやすい内容にしていきます。

また、この動画をSNS等で積極的に発信するとともに、治水施設の重要性を県民の皆様を知っていただくための施設見学会「流域治水かながわ」で上映するなど、様々なイベントで活用していきます。

さらに、遊水地を多くの県民に知っていただき、親しみを持っていただくために「遊水地カード」を既に作成し、配布しているところですが、好評につき、引き続き、様々なイベントで配布するなど、広報活動に取り組んでいきます。

【関連局】 県土整備局

文教常任委員会

「ちがいを力に、ともに歩む未来をかながわで創りましょう」(SDGs目標4・8・17)

【提言要旨】

留学への継続的支援を行うため、提携をしている神奈川県の子妹都市との関係を活用したり、留学ホームステイ希望者が活用できる支援アプリを作成したりする等して、都市単位での交換留学システムを整える。

海外友好都市との交流として、相互交流の協定を結んでいるアメリカ・メリーランド州と台湾・新北市に、毎年高校生を教育特使として派遣しています。また、一部の県立高校において、海外姉妹校訪問や留学生の受入れを行っています。今後も、このような取組の周知を図っていきます。

【関連局】教育局

問合せ先

神奈川県教育委員会

教育局総務室 教育ビジョン・広報グループ

〒231-8588 横浜市中区日本大通 1

電話：045-210-8078（直通）